

8月の植物

イヌビワ (クワ科)

学名 : *Ficus erecta* Thunb.

雌雄異株。初夏に花を付けるが、すでにイチジクの形をしており、花は外からは見えない集合花となっている。受粉はイヌビワコバチ類が行い、先端の穴から中に入って受粉させ、産卵する。果実は秋には黒紫色に熟し、食べられる。名前の由来は「果実の形がビワに似ているけれど、ビワほどおいしくない」ことから来ているそう。(イヌは似るけど違うもの(異ぬ)“劣る”という意味がある)他にも頭に「イヌ」と付く名前の植物が数多くある。個人的には、イヌイチジクと命名したいところだが…。

(文責 : 山崎 工)



(写真 : 武雄市 8月2日 山崎撮影)